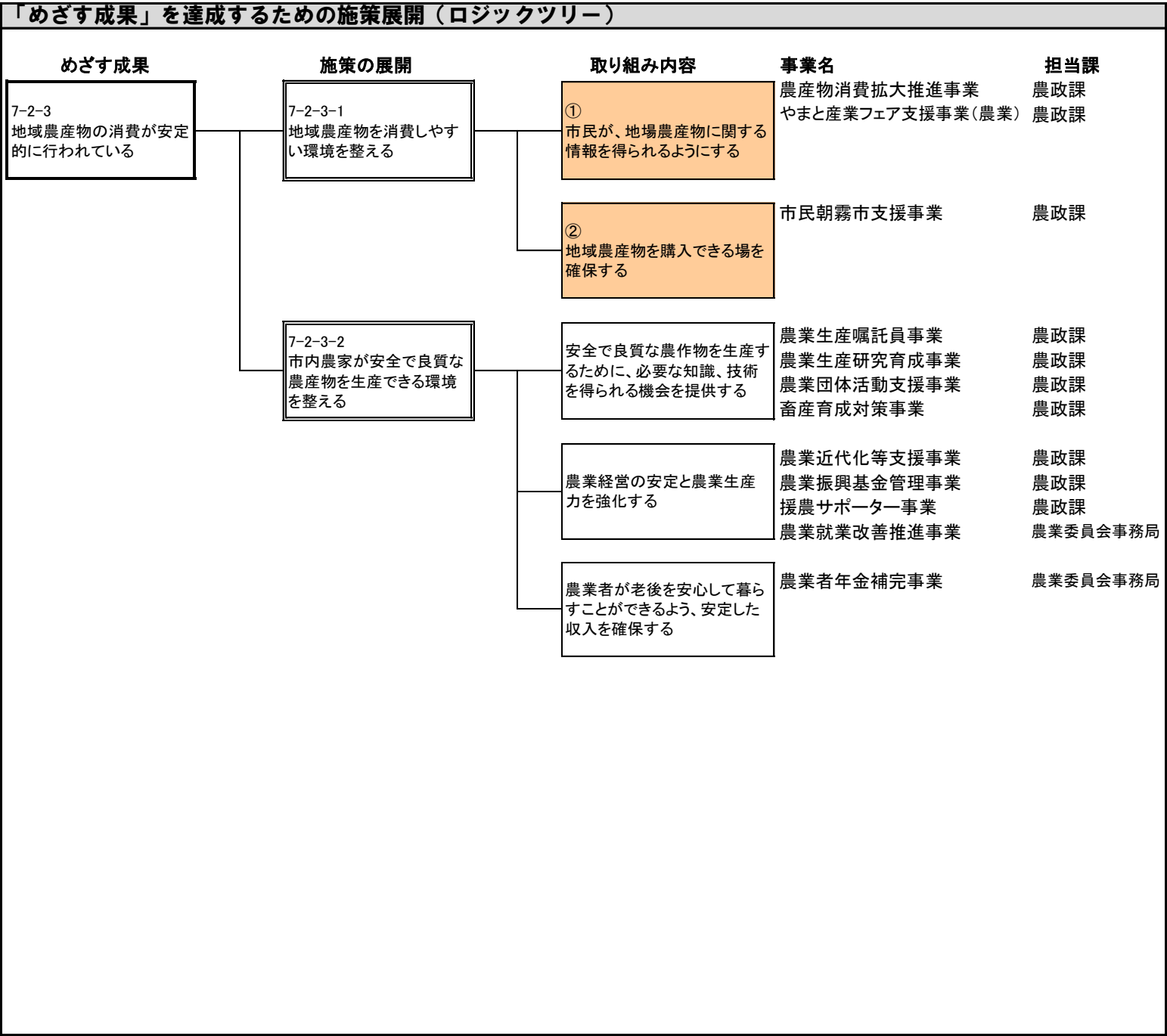


平成27年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-2-3 地域農産物の消費が安定的に行われている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	地域農産物の消費が安定的に行われている
		市内の農業生産が維持され、消費者と直結した地産地消のしくみが整っています。



主な成果を計る指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画		
		計画策定時（H20）	最終目標値（H25）	実績値（H25）	実績値（H26）	中間目標値（H28）	最終目標値（H30）
	①直売所などで販売する農家数	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒
	②朝霧市、夕やけ市、おさんぽマートの年間開催回数	197回	200回	197回	205回	200回	200回

所 管 部	環境農政部	
平成26年度の取り組み内容	【地域農産物の消費しやすい環境を整える】 ・安全安心な地場農産物への理解を深めてもらうため、市内小学生を対象とした米作文コンクールや収穫物活用体験料理教室などを実施しました。 ・やまと産業フェアでは、農産物品評会や植木苗物品評会の開催とともに、地場産の大豆や、その大豆で作った豆腐を販売し、地産地消をPRしました。 【市内農家が安全で良質な農産物を生産できる環境を整える】 ・援農サポーターが農家の求めに応じて支援活動を行うことで、生産者と消費者が相互理解を深め、遊休農地化の未然防止、農業生産の維持に貢献しました。	
構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・直売所で販売をする農家の数を維持することに加え、市民への直売所情報の周知、学校給食への供給、連携を深めていく必要があります。 ・朝霧市等については、多くの市民に利用されていることから、引き続き現状の支援を継続していきます。 ・援農サポーターが高齢化してきていることから、サポーター体験等の実施により、若手サポーターを育てていく必要があります。	
今後の展開方針		
注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充		(該当する事務事業)
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し	・朝霧市等の出店者数の増加、出店内容の充実を図ります。 ・若い援農サポーターの育成を進めます。	(該当する事務事業) ・市民朝霧市支援事業 ・援農サポーター事業